

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29 年1月25日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102518
法人名	医療法人春風会
事業所名	グループホームはるかぜ荒田
所在地	鹿児島市下荒田2丁目39-1 (電話) 099-812-3866
自己評価作成日	平成28年10月23日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年11月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

H13年10月、ホーム開設。市の中心部に位置しており、国道225線に近く、バス、電車等の交通機関に利便性が高いのでご家族の方にも訪問しやすい環境にあり、又、閑静な住宅街であるため、騒音もなく穏やかな時の中で入居者は過ごされている。同じ建物内に有料老人ホーム、居宅支援事業所が併設されている為、防災訓練、折りに触れ、イベント等で交流する機会もある。地域の子供達にぎやかに集う「古田ヶ浜公園」への散歩などで気分転換を図り、地域での催し等にも参加、交流しつつ、地域に開かれたホームづくりを目指している。歩行力の維持の為、下肢訓練の強化など、リハビリ訓練に取り組んでおり、協力医療機関の田上記念病院を始めとして、緊急時には、近医も多数あり、日頃の健康管理から医療連携を重視、促進できるように努めております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは市の中心部の住宅街にあり、買い物や交通の利便性が高い環境にある。有料老人ホーム、居宅支援事業所と共有の玄関、フロアはホテルのロビーのような造りになっており、家族や友人知人らが来所された際にくつろげるスペースになっている。また、リビングには季節毎に作製した作品や地域の文化祭に出展した作品を展示することで、季節感を感じてもらおうとともに来訪者に事業所の取り組みを紹介する場としている。

○年2回夜間想定を含む災害訓練を実施するほか、毎月「避難の日」を設け、避難誘導の方法や避難経路の確認をシュミレーションしている。また、備蓄については、飲料水のほかレトルト食品を備えるとともに備品についても懐中電灯や拡声器、ヘルメットに関しては人数分用意するなど徹底しており、これら防災用品は点検表にまとめることで一目でわかるようにしている。

○毎日の食事が楽しみとなるよう、もやしの根取りや野菜の皮むきなど調理の下ごしらえや、配膳下膳を利用者と職員が一緒に行っている。献立は各ユニットの調理担当者が立てており、利用者の好きな刺身については、週1回は提供するなど要望に応えるようにしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の始業時、朝礼の後に全スタッフで理念の唱和を行い、各自のスタッフはその理念を日々の業務の中で実践できるように努めている。	理念は職員の話し合いのもと作成し、玄関や事務所、リビングに掲げ、朝礼後に唱和を行い共有を図っている。また年度目標を設定し、日々のケアへの実践につなげている。本年度は防災意識の向上と質の高いケア、職員間の情報の共有という目標を立て、災害訓練や研修の充実、連絡帳の活用等に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	年間行事の中で校区、事業所での防災訓練に、地域の方々の協力を得て実施し、地域の行事、町内会清掃活動、文化祭等にも参加し、ホームも地域の一員として啓蒙を行っている。	自治会に加入し公園の清掃や定例会等に参加したり、地域の文化祭への作品出展、中学校の職場体験や看護学生の実習の受け入れなど積極的に地域交流を図っている。また、散歩や買い物に出かけた際に保育園児や地域の方と挨拶や会話を交わすなど、日常的な交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議、町内会等で日常の困りごと、活動状況を報告し、地域の方々にも認知症についての理解を得るため学習できるようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中でホーム状況、実地指導の結果など、報告を行い、話し合い、様々な立場から、意見を頂きながら、より良い、サービスを提供できるように努めている。	会議には家族代表や自治会長、民生委員、行政職員や消防署員等多数の参加が得られ、事業所の取り組み等活動内容の報告のほか、地域行事の案内や参加の依頼を受けるなど積極的な意見交換がなされており、相互に交流を図ることで、日々のサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	苦情相談、ケアサービス等について市へ報告し、市町村担当者に実情についての相談を行い、助言と指導を受けて、ご家族との信頼関係を築けるよに努めている。	行政職員とは運営推進会議で定期的に顔を合わせるほか、介護認定申請や対応に迷った時等に出向くなど、随時相談できる関係を築いている。また、毎年相談派遣委員が利用者と面談し、面談の内容からケアのアドバイスをもらうなど連携を図っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	これまでも毎月の職場会議の中で身体拘束委員会が主となり、リスクのある事案について提出し、全スタッフで検討し、評価を行っており、代替性を工夫、事故発生しないように努め身体拘束0を目指している。	身体拘束委員会を設置し、毎月職員会議で議題を挙げ話し合っており、外部研修にも積極的に参加し研修の内容を報告書にまとめ他の職員に発表するなど、情報の共有と身体拘束をしないケアの再確認を行っている。また、見守りの徹底や言葉による拘束についても繰り返し確認することで自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月の職場会議の中、リスクのある事案について提出、報告を行い、又、研修等参加し全スタッフが周知して、虐待防止の意識向上に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	年間学習の中で、定期的に勉強会、又、研修参加を行い、全スタッフが繰り返し学習できるように実施し、ホームで該当する事案については司法書士に相談し助言を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居契約時には、利用契約書及び、重要事項について具体的にわかり易い表現、言葉を使用しているの説明を心がけており、不明な箇所については問い直し、きちんと理解と納得が得ることができるように図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営会議は代表者含む事業所の管理者会議の中で、家族会議でのご意見、要望など聴き取り、又、運営推進会議でのご意見等も伺いながら、フィードバックできるようにしている。	利用者と交わす日常の会話や表情などから思いを把握するとともに、家族の訪問時や家族会等で面談した際に意見を聞き要望を汲み取るようにしている。家族からリビングの照明が暗いとの意見が出された際には、照明器具を変更して明るくするなど速やかに対応し、意見の反映に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職場会議の中での全スタッフからの意見、要望を聴き取り、運営会議へ、又は個別のものもフィードバックできるようにしてサービスの質向上、業務改善を目指している。	毎月の職員会議で意見を聞くほか、日頃から職員とのコミュニケーションを心がけ随時意見を聞き、必要があれば個別面談も行っている。また、勤務表作成時には休日や有給の希望を可能な限り調整するなど働きやすい環境にも配慮している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期健診（年2回）の実施により個々のスタッフの体調を考慮しての勤務状況が実施できるように図っている。又、介護ストレスマネジメント研修参加等も勧め、余暇時間に気分転換し心身のリフレッシュを促している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外での研修参加を勧めており、案内し、各スタッフがスキルアップできるように啓蒙しており、受講後、全スタッフにフィードバックできるように報告し、全スタッフが周知できるように図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>事業所関連の他事業所や、地域の事業所、他研修会等を通じて交流を図り、相互の情報の提供や意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の相談から、始まり、先ず、本人、家族の意向をきちんと伺うこと、又、支援者として、具体的に困り事、不安感になるべく軽減されて安心されるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前から、事前に家族との相談により、信頼関係を得るように傾聴し、不安や要望については充分把握することから開始している。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の話に入居前から傾聴することで、安心感を持ってもらい、本人、家族が最も必要としている支援を把握できるようにしており、ニーズによっては、他サービスの提案も実施している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	これまでの本人の社会的背景を理解し興味あること、特技、趣味を教えて頂き、日常生活の中で個々できる段階を維持できるように、低下させない支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時など、本人の様子をきちんと伝えて、家族の折々の心情を汲み取ることができるようにしており、毎月「暮らしの日記」を発行して、毎日の様子を伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居前からの、知人、友人からの電話を取り持ったり、面会のお誘いをしたり、これまでの人間関係が途切れないように、又面会時は、居室でゆっくり談話できるように配慮している。	これまでの人間関係や馴染みの場所を本人や家族、入居前に担当していた包括支援センターや居宅支援事業所から情報を集め、センター方式にて記録している。入居後もこれらの関係が途切れないよう家族の協力の下で出かけたり、訪問してもらえよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常生活の中で、お茶や、レクリエーションを通じて、スタッフが調整役となり、お互いの会話を取り持ったりして利用者同士が関わり合いがもてるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院、退居時もこれまで同様に相談を頂けることを説明し、当方からも訪問や、電話で、状況確認をしてフォローできるように実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の日々の表情、言動から、その心情をくみ取れるように声かけを充分に行い、折々ご家族の立場からも本人の様子を伺いその思いを把握できるように努めている	思いや意向を日常の会話や表情、しぐさ等から汲み取るとともに、職員を担当制にすることでより深い信頼関係を持ち、言葉にできない思いの把握に努め本人本位の生活につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の収集できた情報も含めて、ご本人ご家族の会話から得た情報をもとに、スタッフ間での情報共有を密に行い、周知できるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身の状態を詳細に確認を行い個々の利用者が、現在、どのような状況であるのかを把握して、現在、どのような対応が必要かを検討している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人ひとりがより良いサービスを受けられるように本人を含めた、関係者と協議してそれぞれの意見、意向を反映し現状に即した介護計画書を作成、モニタリングを通じて変化に対応した計画書となるように目指している。	本人、家族の意向を中心に毎月のモニタリング結果や受診時に知り得た医師の意見も参考にして介護計画を立てている。また、本人、家族の思いの変化や入退院等状態に変化がみられた場合は速やかに計画を変更し、現状に即した介護計画となるよう努めている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日のバイタルサインのチェック、全身状態の把握に努めており、個別的に記録している。情報は共有されており、計画書に反映されることで、より良い介護が、実践できるように努めている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族との会話、各々の意向をきちんと把握して意見交換を行い、個々の利用者に対して柔軟に対応できるように支援している。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会、民生委員、長寿あんしん相談センター、消防署の各々の関係者と協議、意見交換を行い、協働して、利用者の中で安心して楽しく暮らせるように支援している。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望される受診先を重視して決定、専門医受診の場合はご家族の同行が必要であるが、不可能な場合はスタッフが同行し、情報提供を実施している。	入居前のかかりつけ医を把握し、入居後も本人、家族の希望する病院を家族と職員が協力し合い受診につなげている。受診時の情報は「健康情報提供書」や「受診表」に記録し、朝夕の申し送り時や職員会議で報告することで情報の共有を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	健康状態を把握するため、バイタルサインチェック、全身状態の観察を行い、看護師に気づき等報告を行い、異常の早期発見に努め看護師は医療機関との連携を取り、情報提供を随時実施。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、介護、看護サマリーを提出して、日頃からの健康状態及び精神行動面に於いても情報提供を行い、病棟関係者Dr、Hp地域連携室等と情報交換を実施し、早期の退院に向けてアプローチしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時より、重度化した場合の対応について、ホームで出来ること、できないことを明確に説明して、同意を得ており、医療機関との連携をとりながら、なるべく、ホームでの生活が継続できるように支援をしている。	入居時に「看取りに関する指針」を説明し同意を得ており、入居後も重度化した場合にどこで対応するかを医師を交えて家族と話し合い決めている。また、重度化や終末期のケアについての研修会に参加した際は、職員会議で内容の報告を行い、職員全員の理解と意識向上につなげている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に繰り返し、全スタッフが勉強会等で緊急時マニュアルを理解できるように学習し、急変時事故発生時等は緊急時連絡と対応が適確にできるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、昼間・夜間想定、地震、消防訓練を実施しており、地域住民の参加支援を得ている。又「避難の日」を毎月1回実施し利用者、スタッフ共にシュミレーションをしている。</p>	<p>夜間想定を含む災害訓練を年2回実施するほか、毎月「避難の日」を設け避難誘導の手順や避難経路の確認を実施している。飲料水や食料、懐中電灯や拡声器、利用者と職員全員分準備されたヘルメットは、「防災用品点検表」にて管理している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの人格の尊重を行い、人間としての尊厳、プライバシーを損ねないような配慮と工夫を全スタッフが意識できているかを検討し、意識向上を図っている。	人権の尊重やプライバシーについての内部研修のほか、権利擁護に関する外部研修にも参加し、報告することで意識の向上を図っている。また、日頃からプライバシーを損ねない言葉遣いや声かけについて職員間でお互いに意識しあっている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人ひとりの状態に合わせた、自己決定できるような場面づくりの働きかけを行い、個々の意志、希望の表出を導き出せるような支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	集団生活上で基本的な日課と流れはある中、その日のご本人の体調、性格、精神面に於いて柔軟に対応できるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	各々の利用者の好みをきちんと把握して、意向を訊きながら理美容の訪問サービスがうけられるように支援。毎朝の整容時のご本人に意向の確認している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りなどは、もやしの根取り、味見などを手伝ってもらったり、スタッフも一緒に食事をとりながら、会話ができるようにしており、音楽をかけてゆっくりに楽しめる雰囲気配慮している。	調理の下ごしらえに利用者も参加し、職員も同じメニューで一緒に会話を楽しみながら食事をしている。献立は各ユニットの調理担当者で話し合い、利用者の要望により週1回は刺身の日を設けている。また、おやつは手作りにこだわり、利用者には喜ばれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事摂取量、飲水量のチェックを実施しており、又献立等により嗜好の把握を行い、残食の内容の確認等を行って形態を変えたりと工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアは、理念にもあり、毎食後の声かけ誘導を行い、仕上げ確認を重視している。義歯の管理も定期的に洗浄を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンをきちんと把握して、働きかけの必要な方には、声かけ誘導を行いできない部分での排泄介助を実施しており、失敗の場合も、プライドを損ねない対応に配慮している。	病状等によってはポータブルトイレを中心に利用する方もいるが、基本的に日中はトイレでの排泄支援に努めている。排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し誘導することでおむつの軽減を図っており、介護計画に組み込み職員全員で対応している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、排泄の確認を行い、食事内容と、飲水量に配慮して工夫して、適度な運動量等働きかけている。腹部マッサージなども適宜実施している又、主治医相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は週3回となっているが、毎日、体調や気分に配慮して、個々に応じた、入浴支援を実施しており、入浴拒否等にもタイミングを観たり、清拭などを適宜実施している。	入浴日を設けているが、個々の希望や状況に応じ、いつでも入浴できるようにしている。また、入浴を楽しめるよう入浴剤を利用したり、入浴後には保湿クリームの塗布や水分補給にも気を配り対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	毎日の生活リズムの中で体操、レクリエーションなどで身体を動かすこと、休息できる時間のバランスを考慮しながら支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	自分で内服できない方は、スタッフが服薬介助を実施、手渡す場合にも、毎回、本人の名前を呼んで、3回は確認している。薬の効能、副作用など、個人ファイル等で確認し理解している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居前からの情報収集から始まり、入居後は、ご本人との会話から特技、楽しみごとを随時訊きながら、日々の生活に活かせるように工夫し、無理なくできることを働きかけしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	日課の中で、天候を観て近所の散歩支援を行う中で気分転換を促し、面会のご家族、友人の方にも無理のない状況で、同伴しての外出の機会を増やして頂いている。	花見やソーメン流し、地域の文化祭である「すこやか祭り」に全員で出かけるなど外出の機会を設けている。また、日常的に散歩に出かけた際に近所の方と挨拶や会話を交わすなど交流しており、歩行が難しい方には車いすや法人からリフト車を借りて出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>各々の利用者に合せて、所持できる方には、少額でも所持して頂き、ホームでも小口預かり金があり本人と同伴して買い物に同行して頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者によっては、携帯電話を所持して頂き、随時、ご家族とのやり取りができています。他の方はご本人、ご家族の要望に応じてスタッフが仲介して、取り次いでいます。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>月1回のフラワーアレンジメントの日には、季節の花を入居者が自ら、器に付けて頂き、フロアー居室に飾っている。随時、適温調整、採光、音にも配慮して居心地良く過ごせるように支援に努めている。</p>	<p>有料老人ホームと同じ建物のため共通の玄関となっており、広い空間にソファが多く配置されホテルのロビーを思わせる造りになっている。リビングは利用者が過ごしやすい明るさに気を配るとともに、空調についても温湿度計を目安に室温調整を行っている。また、季節毎の作品や文化祭出展作品を掲示するなど季節感にも配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者に合せたテーブルでの席替えをしたり、配置を考慮しており、ダイニングには椅子、ソファを置いて、一人でもくつろげる雰囲気づくりに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前から、本人の意向を伺いつつ、ご家族と相談して居室には、今まで馴染んできた家具や物品などを配置して、本人が安心して居心地良く過ごせる雰囲気づくりに配慮している。</p>	<p>エアコン、電動ベッド、タンスが備え付けられ、利用者の動線に配慮した部屋造りを行っている。室内は本人や家族が中心となって飾り付けを行い、職員も協力している。コンセントのほこりや感染症予防のための掃除や消毒などをこまめに行っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレ、洗面所は共有で各々、三箇所、配置しており、中央がデイルームとなっており、比較的、わかり易い状況がある。通路、居室の危険因子となる物は常時、排除して安全な環境づくりに努めている</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input checked="" type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input checked="" type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域住民に密着した生活支援を心掛け、毎朝礼時の理念の唱和でスタッフ全員が理念を吟味し、ケアの指針として、共有しケアに取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	敬老会、クリスマス会等のイベントにご家族をはじめ、町内の方々、ボランティアの方が余興をして参加され、交流を深めている。ホーム外の地域イベントにも積極的に参加している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	日々実践しているケアを通して、どの様にして認知症高齢者の理解や支援方法の工夫をしているのかを、運営推進会議を通して、地域代表者をはじめ地域住民へ発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族・地域住民・包括支援センターの方々・スタッフを含め、地域での取り組み、ホームでの取り組みを共有することで地域イベントへの参加を行ってサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	積極的に事業所の実情を市町村担当者に伝え、相談することで課題解決が速やかに行われる様に、連携を図っている。		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	やむをえず身体拘束をしなければならぬ条件を毎月のスタッフ会議で報告し、知識の共有をしており、身体拘束委員会を開催して拘束廃止に向けてのケアが出来る様に協議をおこなっている。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	勉強会、毎月のスタッフ会議にて高齢者虐待防止法や5つの虐待についての理解を深め、意見を交わし合うことで、利用者一人ひとりの暮らしが侵害される事のないように努めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	外部研修や勉強会などで、権利擁護に関する制度の理解を深め、その必要性があるかどうかを関係者と話し合うことで、制度の活用を実現できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時は契約書・重要事項説明書の説明を行い、利用者、家族からの心配等疑問点には十分な説明を行い理解して頂けるように努めている。また、解約時にはこれまでの利用者の生活情報の提供も行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>介護相談員を年1から2回派遣してもらい利用者の思いを聞いていただいたり相談に乗ってもらっている。また、2ヶ月に1回運営推進会議を行い、家族、地域住民、長寿あんしんセンターの方々スタッフを含め意見交換を行い、それらを運営に反映させている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月1回の職場会議や毎日の朝礼、終礼時を通し家族会、運営推進会議の中で頂いた意見、提案を管理者が報告し日々の業務やケアに反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の定期健診(年2回)の実施をして個々の体調を考慮しての勤務状況を作り実施している。又、介護ストレスを保留しない様に研修参加等で他施設の方等との交流も勧め、余暇時間に気分転換ストレス解消をする様に促している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外での研修を年間行事予定の中に取り入れ実施し、研修の内容についても職場会議の中で報告し、意見交換しながら知識をを共有し、日々の業務やケアの向上に反映させている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>近隣の事業所、関連事業所との研修会の中で交流を図り、意見交換を行いながらケアサービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前からの情報提供を基にスタッフ全員で今までの状況把握をし、利用前の見学時では本人の心配事、不安に思う事、要望等に耳を傾けながら本人が安心して生活して頂けるような関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時に家族が困っている事、不安、要望等を出来る限り聞き少しでも不安を取り除けるように関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時点でご本人や家族の実情や要望を確認・理解し、まず必要としている支援を見極め他のサービスも提供しながら安心して充実した毎日が送れるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で利用者の出来ること、やりたいことを無理のない範囲で継続していただけるよう支援に努めている。また、生活背景から本人の知恵を伺う機会を得ることにしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	施設での様子を「暮らしの日記」に記録し、ご家族に渡している。施設での催しの参加、面会等で入居者と家族の交流を図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの友人、知人との電話連絡や面会をお受けしたり、家族と馴染みの場所へ外出したりと支援している。		
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、日々のレクリエーションや会話等で一人ひとりが孤立せずに関わり支え合えるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用終了後もご家族の相談を受けたり、介護に関する助言や情報を伝えて支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々、利用者との会話の中で希望や思い、以降の把握に努めている。困難な場合もスタッフ間で話し合い、家族の意見も聞き把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴、暮らし方、サービス利用の経過等聞き取りをしっかりと行い記録、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々、利用者との関わりの中で一日の過ごし方や有する力等の把握、また定期受診や心身の様子から把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人がより良く暮らす為の課題とケアの在り方について本人、家族、スタッフ間で話し合い、全スタッフからの意見を反映させながら、その都度見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>食事、水分摂取量、排泄パターン等、その方の特に注意観察の必要なケアにおいても、ケアの共有統一の為に記録を残し介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者それぞれの状態、その日の状況で対応、ケアを柔軟な支援に努めている。また、ご家族とも相談をして勧めていき、信頼関係にも努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域で安心して生活できる様に町内会長、民生委員との協力のもと地域行事への参加、出展品を積極的に行、楽しく生活で居る様支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族、本人の希望を尊重し決定しており、定期受診への送迎を行い、主治医との連携を図りながら、随時適切な医療が受けられ臨時対応も出来ている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>毎日の健康管理を行う中で情報や、気づきを朝礼、終礼で看護職員も参加しているので、細かく助言指導をもらっている。不在時でも連携がとれ、医療機関とも体制を確立できている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>家族とともに相談をしながら、身体に関するzy広報を医療気化へ提供し、スタッフも機会を見て見舞う様にしている。医師とも連絡を取り合い早期に事業所内で対応可能な段階で退院切替りにアプローチも行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した状態に応じて家族、医師、看護師を交えて話し合い、本人、家族の気持ちを尊重して事業所として出来る事を説明し、急変時は医療連携を図っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急手当、心肺蘇生は定期的な訓練、研修をして知識の共有、周知を行っています。急変時は連絡網の掲示に従って連絡を速やかに実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎日「避難の日」を設けて、全職員がシュミレーションできる様に努めている。毎年2回消防署の協力のもと、避難訓練をスタッフ、入居者ともに行っており、地域との協力体制も得ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損なう声かけをしていないか、ミーティングや勉強会などで話し合いの場を持ち意識の向上を心がけている。		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	日常生活の中で一人一人の思いや希望を表したり、自己決定が出来る様な支援に努めており、意思表示の難しい方は表情を見ながら声かけを行っている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	一日の流れの中で、一人ひとりのペースを大切にその人の希望に添って生活出来る様に心掛けて支援している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	理美容の訪問サービスを利用し、個人の希望に応じて整髪を行っている。外部の理美容も外出して実施を勧めている。毎日の更衣も本人に伺いながら衣類を準備し、その人らしい身だしなみやおしゃれが出来るように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食材の下ごしらえや食後のテーブル拭きなど一人ひとりの力を活かしながら一緒に準備や片付けを行っており、食事を楽しむことのできる様な雰囲気作りも大切にしている。</p>			
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの体調や誤嚥状態に応じて食事、水分形態の工夫など行い、栄養や水分がスムーズに摂取できるよう支援している。各利用者の飲水量、食事量等の記録をしている。</p>			
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じて毎食後声かけ、見守り、介助を行っている。決まった曜日には、義歯洗浄剤を使用し、口腔内の洗浄に努めている。</p>			
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>利用者の排泄パターンに応じてトイレへの誘導を行い、なるべくトイレでの排泄が出来るように支援している。自立支援を心掛け本人が傷つかない様言動にも配慮している。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物の工夫や運動への働きかけ、腹部マッサージ等を行い、便秘予防に取り組んでおり、毎日の排便確認をし、各利用者の記録つけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は決めているが、出来るだけ利用者の気持ちを尊重し、体調に合わせて提供している。時には入浴剤を使用してリラックスしてもらっている。安全第一でケアに努めている。		
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	休憩時間も一人ひとりの体調に合わせて取ってもらっており、終始居室の室温調整をして健康面に気を付けている。安心して眠れるように巡回している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルを通して薬の効能、副作用と用法は理解している。服用時は個々の名前を言い誤訳がない様に努めている。また、症状の変化も観察し主治医への情報提供を図っている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>在宅での生活歴を基に個々出来る事を依頼している。また、レクリエーションや地域での行事、苑外行楽、散歩等を通して気分転換を図り、庭で野菜作りもしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>家族の協力を得て、馴染みの場所への外出、墓参り、外食等への勧めを行ってもらっている。家族一緒の参加で四季折々を感じていただけるように外出の機会を設けている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族よりお金を預かり利用者の要望に応じて使える様に支援している。必要な物はスタッフ、利用者、家族と話し合った上で購入している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>携帯電話を持参して家族と連絡を取っている方もいる。連絡を求めてくる際は状況を確認しつつ取り次をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空かに限らず職員が清掃、清潔を保ち居室には季節の花をフラワーアレンジメントで行い、又はフローアでは季節の物を飾ったりしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自由に居室、フロアの出入りが出来る様にしており、ソファを設置し、一人でもくつろげる雰囲気作りにも配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室はご本人、家族と相談して思い出のある物等を配置し、居心地良く過ごせるようにしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の方が移動しやすい様に動線を工夫して安全に自立した生活が送れるように環境作りに努めている。障害物となる物は日頃から点検排除している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない